

新体制スタート

●奥田弘樹副町長が就任
県庁で培ってきた経験と人的ネットワークを活かし、「笑顔あふれるまち飯南町」の実現に向けて全身全霊で取り組みます。

町政に携わるのも、町に住むのも初めての私です。住民の皆さんの声を聴き、町長を支え、職員と歩みを共にしていく所存です。町の文化や暮らしを肌で感じながら、飯南町での生活を楽しまたいと思います。

●任期
令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年間)

○職歴
・平成7年4月/島根県職員採用
・平成24年4月/西部県民センター商工労政課
・平成27年4月/島根県立大学 新学部設置等準備室
・平成29年4月/総務部財政課
・令和2年4月/農林水産部 農林水産総務課課長代理



町内5地区が未来語り

集落実態調査成果報告会

ふれあいホールみせんで開催した「集落実態調査成果報告会」に、約50人が参加しました。

前半は、今年度調査を終えた5地区(佐見、敷波、上来島、都加賀、奥畑)の報告。それぞれに集落の良いところや不便なところ、10年後の理想像、これから自分たちにできることを発表しました。

後半は、(社)持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山浩さんが「地域を創り直す〜田園回帰の時代〜」と題して講演。藤山さんは「話合」の中で地域の強みを見つけ、それを地域「丸」となって伸ばしていくことが

●大谷哲也教育長が就任
飯南町の子どもたちが、「この町で学べて良かった」「将来この町で活躍したい」「この町で幸せに暮らしたい」と思えるような教育環境を作っていきます。

これまでの行政経験を活かし、「保小中高貫教育」「小中学校のふるさと教育」「飯南高校の魅力化」「ICT教育」など、飯南町ならではの教育をさらに進化させていきます。

●任期
令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年間)

○職歴
・昭和63年4月/旧赤来町職員採用
・平成26年4月/産業振興課長
・平成29年4月/企画財政課長
・平成31年4月/総務課長



矢飼斉教育長が退任

(令和3年3月31日付)
平成29年4月の就任以来、教育現場での豊富な経験を活かし、町の教育行政に尽力されました。

3/18 木

大切。また、今ある地域資源を活かして、若者や女性が活躍できる場を作り、巻き込んでいくことが将来の担い手不足の解消につながる」と話していました。



「中山間地域研究センターの有効活用を目指したい」(上来島地区)

アルコールハンドジェル

千本を寄贈

3/23 火

ドラッグストアを運営する(株)ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本から、アルコールハンドジェル千本の寄贈がありました。
東郷繁営業本部長は「町民の皆さまの安心安全な暮らしを守るために活用してほしい」と話していました。



町内各施設に配布予定です

まちを元気に！地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊員」を紹介。4月から新たに4人の隊員を迎え、計6人が活動中です。



前田 千紗
〈地域振興課〉新任
国道54号沿線の活性化対策



石橋 篤
〈地域振興課〉新任
下来島川尻地区での農業支援、集落支援



瀧尻 恵二
〈教育委員会〉新任
飯南町学習支援館での学習指導、運営管理

「地域おこし協力隊」は、地域外の人材を受け入れ、最長で3年間、地域の課題解決に取り組みなから、隊員本人のその後の定住定着を図る制度。飯南町では、これまでに34人の隊員が活動してきました。



永瀬 友真
〈教育委員会〉新任
飯南高校魅力化、キャリア教育、生徒募集



渡邊 彩子
〈教育委員会〉
飯南高校をはじめとした町全体の教育魅力化



古賀 崇真子
〈産業振興課〉
大しめなわ創作館での創作活動、PR活動

売上の一部を琴引山の環境保全に

3/22 月

売上の一部が琴引山の環境保全として寄付される「純米吟醸琴引山」の発表会が開催されました。

この商品は、新型コロナウイルス感染症などで大きな影響を受けている地域全体を盛り上げようと、(株)赤名酒造と(農)大安伸との連携で開発。酒米には、琴引山の麓で生産されたお米が使われています。



ラベルの文字は塚原隆昭町長が揮毫

2つのビジネスプランが優秀賞に

3/16 火

町内の仕事の創出を目的としたビジネスプランコンテストで、2つのビジネスプランが優秀賞に輝きました。

●ギャラリー&カフェ「金や」スタートアッププロジェクト(八嶋敏江さん)



●飯南町の価値を再認識する持続的なパーソナル縫製事業(Aoi needle work 山本かりさん)



■問合せ
産業振興課 電話76-2214